

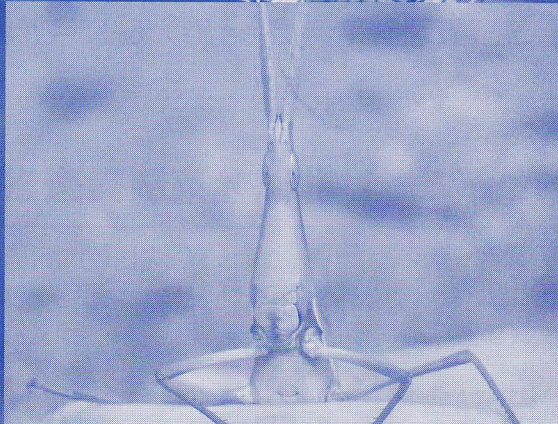
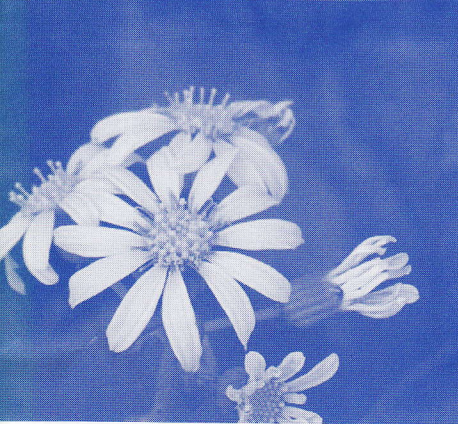
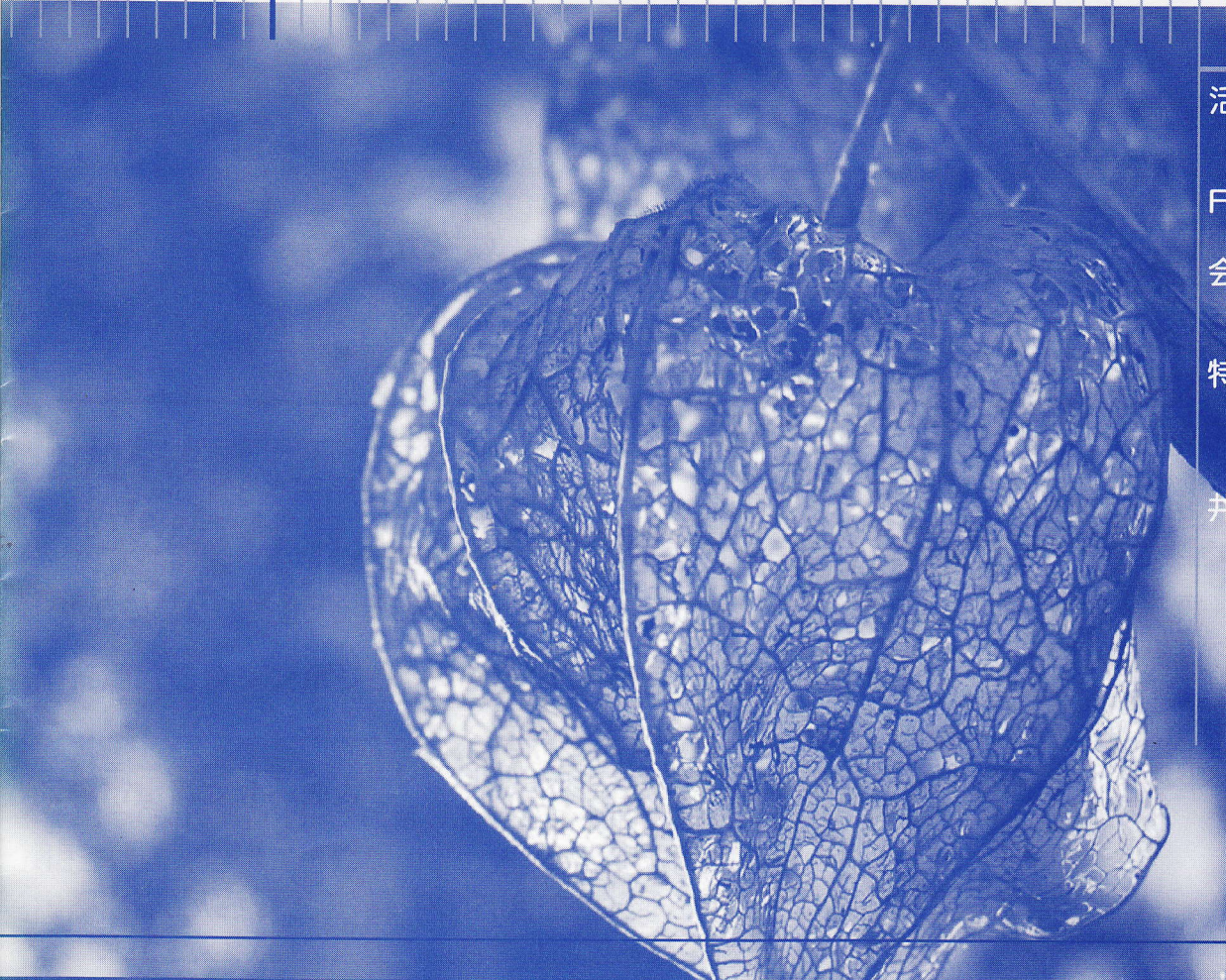
エコトピア



第5号

contents

- 活動のご報告……………2
湖東地域環境シンポジウム
- F-NEWS……………4
- 会員のすがお……………5
グラウンドワーク甲良
- 特集……………6
STOP!地球温暖化!
みんなで行動するために
- 井戸端掲示板……………8

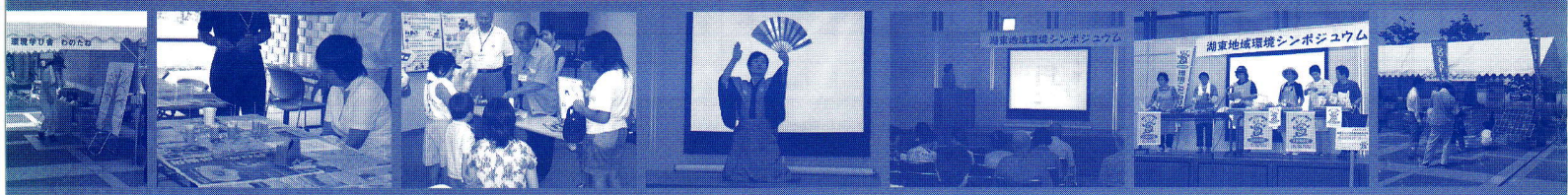


小さな発見で毎日をたのしく



湖東地域環境シンポジウム報告

「美しい芹川を守るために」をメインテーマとして9月3日（土）に滋賀県立大学を会場に開催いたしました。基調講演、パネルディスカッションをはじめ、ヨシ笛コンサート、市民活動報告、展示など企画盛りだくさんでした。



基調講演

住まいの文化

－ 住まいと水のかかわりについて －
岐阜女子大学名誉教授 吉見静子 氏

民家の構造の例を紹介していただき、生活と水との関係の強さを教えていただきました。その講演の内容を少し紹介いたします。



■ 水・川の場合は住まいにとって重要な要素

地域によって気候風土が違い、文化が伝わってくる道、川があり、住まいの構造が変わってきます。それは伝統的な民家が自然を基盤に形成されてきたことの表れでもあるといえます。

■ 水の大切さを日常で体験

今では水道があり苦労せずに水を使うことができますが、かつてはとても苦労しながら川や水路から生活用水を運ぶのが一般的でした。そのため、川や水路ではすべての人がきれいな水が使えるようにという配慮がされていました。また水をお互いに管理しあい、その中で地域としての連帯感というものが形成されていたといえます。

■ これからの生き方

人々の生活に不可欠な「水」そして「川」。今は日常生活から離れてしまい、遠い存在となってしまった「川」。もう一度「川」を見直し、身近な存在としていくことで、自然の力を引き出し利用してきた、まさに自然の中で生きてきた人間本来の生き方をみつけることができるのではないのでしょうか。

パネルディスカッション

有馬裕次 氏 (NPO芹川理事長)

「子どもたちが川で遊べるようになるためにも、危険もあるということを体験的に教える必要がある」

中山和郎 氏 (びわこ銀行総務部環境推進室長)

「三方よしの精神プラスOne（売り手・買い手・世間+環境）がこれからの企業に求められる」

岡崎正彦 氏 (彦根市立旭森小学校PTA会長)

「川遊びができる川が少しずつ戻ってきている。川に行くといえはついてくる子どもたくさんいる。川に親しむことが次につながる」

近藤隆二郎 氏 (滋賀県立大学助教授) コーディネーター

「環境問題は頭の中で考えるのではなく、生活の中で向き合っていないと、何も変わらない。川に行き遊んだり、掃除したり動くことが大切」



活動報告

湖東地域環境シンポ

NPO芹川 理事長の有馬裕次さんによる今までの活動の報告がありました。
 「芹川という彦根市の素晴らしい資源・資産・財産を後世に引き継ぎたい」という思いから始まり、清掃活動から子ども狂言までさまざまな活動を行なっています。



間狂言

彦根伊呂波会の小澤祥子さんによる「那須之語」。静かな動きの中から、那須与一が的を射落とせるかという緊張感がひしひしと伝わってきました。日本の伝統芸能の奥深さ、これからの可能性を感じました。



よし笛コンサート



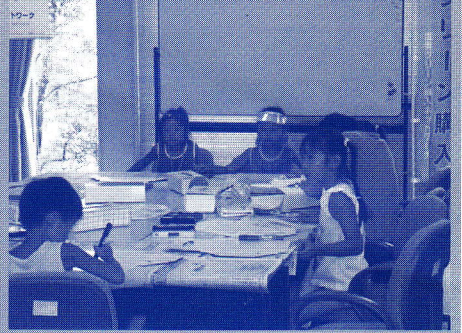
よし笛・ギター演奏「はなちゃんず」の中村由紀子さんによる手作りのよし笛によるコンサート。綺麗な音色が会場に響き渡り、いきいきとした素晴らしい自然の風景が目の前に広がるかのようでした。ヨシに関するクイズもあり、ヨシのすごさを再発見しました。

朗読劇

湖東地域生活研究グループの担い手班の皆さんによる朗読劇「環境こだわり農産物ってな〜に」。実際にある認証制度を農家、消費者両方の立場からわかりやすく、そして楽しく伝えていただきました。



ティッシュボックス工作教室



滋賀グリーン購入ネットワーク

親子エコグループ



エコグループ・アイ

ソーラーカープラモデルづくり



地球温暖化防止活動推進センター

炭焼きがまの展示・即売



滋賀県立大学竹林プロジェクト

ミニ畑

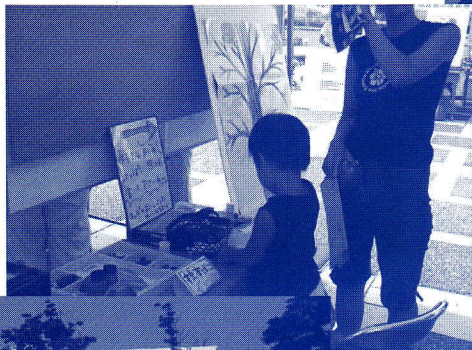


学生環境グループ「水人」

おもしろ自転車試乗会



ひこね自転車生活をすすめる会

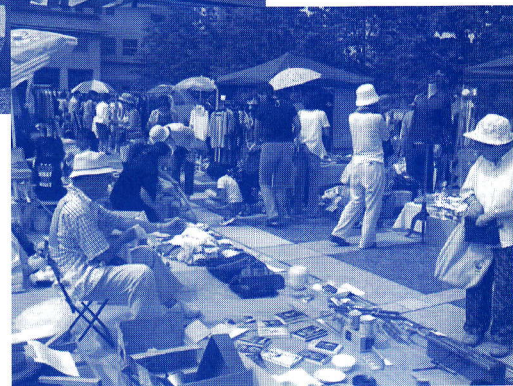
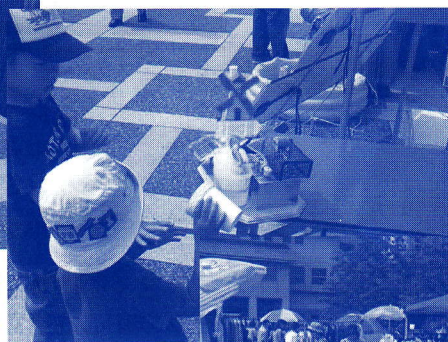
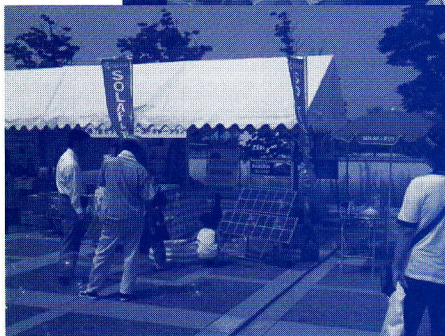


環境商品の紹介

環境こだわり農産物などの展示即売

環境団体の展示紹介

環境フリーマーケット



京セラ㈱、㈱平和堂、関西電力㈱滋賀営業所、㈱あゆむ・暮らし工房、㈱古川商店、彦根市浄化槽業者協議会、JA東びわこ、湖東地域環境こだわり農業推進協議会、NPO 燦電会、芹川自然観察の会ほか、快適環境づくりをすすめる会、彦根市環境保全指導員連絡会議、環境学び舎わたね、滋賀自然環境保全学習ネットワーク、湖東みずすまし推進連絡会議、滋賀県水産試験場、NPO 芹川、豊郷町消費学習グループ、WWF・ブリヂストンびわ湖生命の水プロジェクト



環境の世紀といわれてすでに5年。今に生きる私たちにとっては、自然と人との共生ということが何よりも重要な課題になっています。

日々の暮らしの中で、琵琶湖から多くの恵みを受けている滋賀県民。近畿1400万人の命をつなぐ貴重な水源であり、先人から受け継がれてきた琵琶湖を健全な姿で次の世代へとつなげていかなければなりません。

今年になって琵琶湖環境科学研究センター、環境学習支援センターという2つの中核的な施設がオープンし、環境こだわり県としてさらなる前進を目指す滋賀県。こうしたセンターなども利用しながら、一人一人が主役となって環境への取り組みを進めていきましょう。

(仲岸湖東地域振興局長あいさつより)



環境フォーラム湖東は、地域の環境を地域の住民が充分理解し情報を交換し、環境に対する認識を共有することを目的として結成されました。

今回のシンポジウムもその一環として、参加していただいたたくさんの方々の市民、団体、企業、行政など、みなさまの間で交流ができたのであれば幸いです。

(仁連代表あいさつより)

グラウンドワーク甲良

GROUNDWORK



21世紀 環境をみすごせますか？

CAN YOU AFFORD TO IGNORE THE ENVIRONMENT?

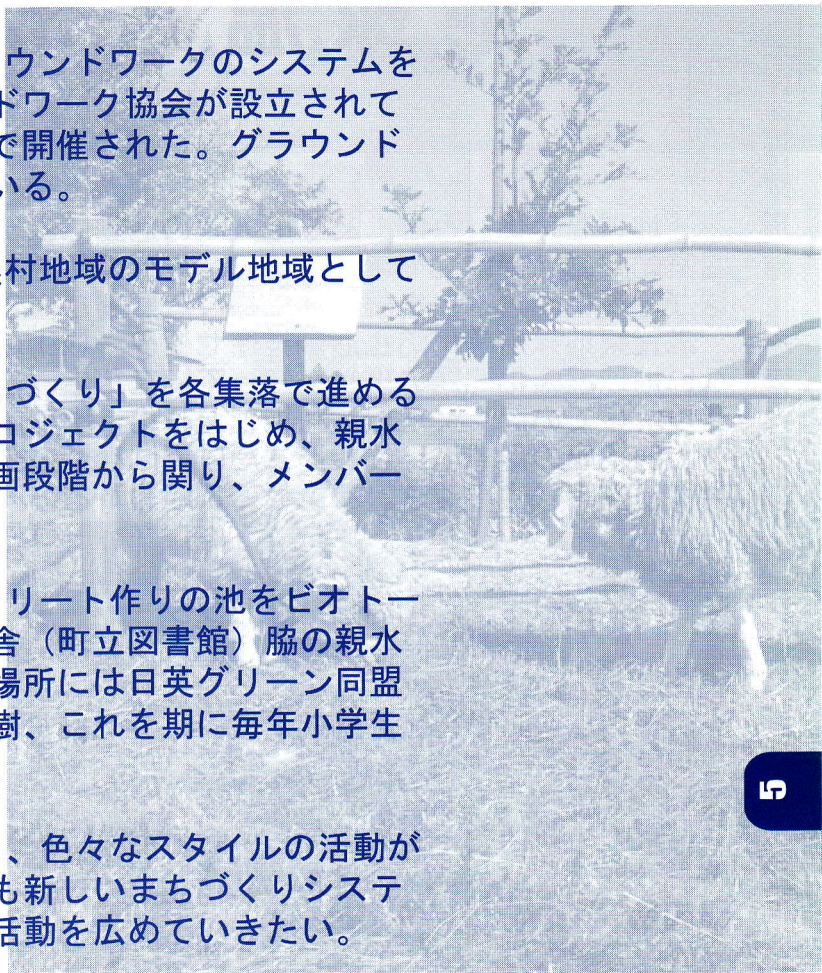
1980年代のイギリス農村地帯で生れたグラウンドワークのシステムを日本でも推進する為の（財）日本グラウンドワーク協会が設立されて今年で10年になり、10月に記念式典が東京で開催された。グラウンドワーク甲良も協会設立当初から参加をしている。

この間、協会企画のパイロット事業では農村地域のモデル地域としてグラウンドワーク活動を推進した。

甲良町の住民主体の「せせらぎ遊園のまちづくり」を各集落で進めるむらづくり委員会では、ホタルの川整備プロジェクトをはじめ、親水公園、ポケットパークや水路の整備など計画段階から関り、メンバーはリーダー的役割を果たした。

また、小学校の先生と協働で校庭のコンクリート作りの池をビオトープ池に改良したり、多数の町民が集る学び舎（町立図書館）脇の親水公園の管理清掃を年数回行っている。この場所には日英グリーン同盟を記念に英国から贈られたオークの木を植樹、これを期に毎年小学生を対象に環境イベントを行っている。

グラウンドワーク活動は全国各地に広がり、色々なスタイルの活動が繰広げられている。グラウンドワーク甲良も新しいまちづくりシステムとして、周辺地域にもグラウンドワーク活動を広めていきたい。



5



甲良町グラウンドワーク準備会事務所

滋賀県犬上郡甲良町北落80-1

TEL 0749-38-8047

E-Mail: kgw@mx.biwa.ne.jp

特集

みんなで行動するために

地球レベルで起こるさまざまな環境問題。なかでも地球温暖化の問題はなかなか対策も効果を表さず、解決が困難になっています。

今回は、滋賀県地球温暖化防止活動センターがすすめている温暖化防止に向けた学習をおこなえる講座を紹介します。



地球温暖化出前講座

出前先募集中

「地球温暖化」とは、おもに人間の活動によって排出される、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスが増えてきたために、地球の気温がどんどん上がってしまう現象のことです。地球が温暖化すると、世界各地に様々な影響が出ます。

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター(※)では、一般の県民の皆さんにはまだまだ関心の少ない地球温暖化問題の現状を知っていただき、この問題が私たちの日常生活と関係が深いことを理解していただくため、「地球温暖化」出前講座を行っています。

出前講座の形式は、講義形式だけではなく、クイズや実験を組み合わせた参加型・体験型の楽しい内容が中心です。お気軽にご応募下さい。

■主催者

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

■出前講座に行く者

滋賀県地球温暖化防止活動推進員(※)、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター職員

■出前講座をする先

滋賀県内の自治会・婦人会・子供会・老人会・企業・学校などの団体又は各種イベント

■内容

内容については、出前希望団体と滋賀県温暖化防止活動推進員・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター職員が打合わせを行い決定します。

※滋賀県地球温暖化防止活動推進員とは

地球温暖化を防止するためには、国や企業だけでなく私たちひとりひとりが「今のままでいいの?」という意識を持ち、各々の生活を見直していくことが必要です。

「滋賀県地球温暖化防止活動推進員」は、滋賀県知事から委嘱を受け、県内の各地域で地球温暖化防止に向けた普及啓発活動を展開しています。

※滋賀県地球温暖化防止活動推進センターとは

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて滋賀県知事から指定を受け、推進員の研修を行ったり、推進員や地球温暖化防止のための活動を行う団体などの活動に協力したりしています。

■お問合せ・お申込先

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター
〒520-0807大津市松本一丁目2番1号
(財)淡海環境保全財団内
TEL:077-524-7168
FAX:077-524-7178
E-mail:ondanka@ohmi.or.jp

STOP!

STOP!

■ 4つの「推進員グループ」が各地域で活動しています。

赤グループ(湖北・湖東)

県・市町主催イベントでのブース展示
ソーラーカー工作教室、出前講座など

青グループ (大津(瀬田川以西) 志賀・湖西)

出前講座等

緑グループ(東近江・甲賀)

県・市町主催イベントでのブース展示
出前講座、街頭啓発など

黄グループ(湖南・瀬田他)

県・市町主催イベントでのブース展示
出前講座等



彦根市環境フォーラムでの活動



湖東地域環境シンポジウムでの活動

2005年度

☀赤グループ(湖東:湖北)活動実施済・予定☀

湖東地域環境シンポジウム	9月3日(土)	滋賀県立大学	クイズ・ソーラーカ工作・ 出前講座・実験器具よる啓発
彦根市環境フォーラム	10月10日(祝)	彦根市文化プラザ	クイズ・ソーラーカ工作・ 出前講座・実験器具よる啓発
出前講座	11月2日(水)	米原中学校	出前講座・実験器具よる啓発
かんでんエコフェスタ	11月3日(祝)	長浜市神照運動公園	クイズ・ソーラーカ工作・ 出前講座・実験器具よる啓発

■地球温暖化防止活動推進員湖東・湖北リーダーからのコメント

☆≡ 赤グループ(湖東:湖北)は彦根市・長浜市を中心にブースを開設して、クイズ・ソーラーカー工作・出前講座・実験器具による啓発活動を行っております。

☆≡ 10名以上の団体でしたらどこでも地球温暖化防止の啓発活動に行きますので、下記までご連絡下さい。

☆≡ 連絡先

〒522-0066 彦根市栄町2丁目6-47

TEL: 0749-23-3038

携帯: 090-7490-5189

メール: bh6zxsia8eih5j6agis@docomo.ne.jp

望月伸弘(もちづきのびひろ)

研修交流事業のお知らせ

あなたも参加しませんか！

体験型環境学習

12月10日(土) 15:30~20:00

荒神山少年自然の家(彦根市日夏町)

参加費1000円(夕食付)

募集定員35名程度

【内容】

- 話題提供：村上宣雄氏(滋賀自然環境保全学習ネットワーク会長)
- ほっとカフェ(滋賀県環境学習支援センターの事業紹介有り)
- ダンボールアート：田中和之氏

※お申込みは11月30日までに環境フォーラム湖東事務局まで

環境に興味のある方
市民活動をおこなっている方など
いろいろな方との出会いの場に...



■ 新規会員募集中

環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています。

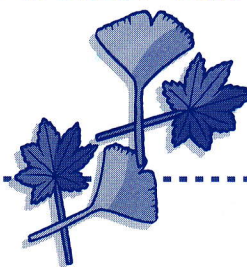
すでに環境に関する活動をされている方や、ちょっと勉強してみたいという方、企業・市民団体のみなさんまで、どなたでも参加していただけます。

まずはお気軽に、下記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。

■ 会員の皆さんへ

環境フォーラム湖東ではみなさんからの情報をお待ちしております。

イベント情報や普段の活動の様子などを情報交流誌「エコトピア」または、「フォーラム通信」、ホームページに掲載いたしますので、「他の人にも伝えたい」という情報がございましたら、下記事務局までご連絡ください。



■ 落とし物のお知らせ

湖東地域環境シンポジウムの会場に財布などいくつか落とし物がありました。

事務局で預かっていますので、心当たりのある方は環境フォーラム湖東事務局までご連絡ください。

環境フォーラム湖東 事務局

- 〒522-0071
- 彦根市元町4-1 湖東地域振興局環境課内
- TEL 0749-27-2255
- FAX 0749-27-1688
- URL <http://www15.ocn.ne.jp/~foramkot/>
- E-mail dc43@pref.shiga.lg.jp

編集後記

早いもので、もうすぐ今年も終わりです。そろそろ色んなところで、来年に向けた準備が始まります。環境フォーラム湖東でも次々と新しい試みをしていけるといいなあと思います。(山田)

- 発行 環境フォーラム湖東
- 編集責任 環境フォーラム湖東広報部会
- 平成17年11月発行